

平城高校の生徒のみなさんへ

皆さんお元気ですか。新学期は放送による始業式から始まり、臨時休校を経て在宅教育期間に入ったわけですが、新型コロナウイルス感染症（covid-19）の感染拡大により、さぞかし不自由な生活を強いられていることと思います。

学校の中庭の八重桜は今、満開の頃を迎えています。例年なら「中庭コンサート」で盛り上がっていたことでしょう。

現在、学校では先生方がみなさんの教材の作成や提出物の確認に忙しくされています。

今後は学校から郵送による課題の提供の他、動画による授業を随時配信してゆく予定です。

こんな時こそ、「今、何が自分にできるのか。今何をなすべきか」を自問自答しながら将来、自分はどんな仕事を通して社会に貢献できるのか。夢を叶えるためには何をすべきか等を考え行動する、つまり「生き方」や「人間力」を問われている時かもしれません。



中庭の八重桜

家庭でも、若い君たちが明るく未来に向けて頑張っていると、家族は元気を貰えます。炊事や洗濯、家の掃除といったお手伝いをすることも大切ですし、気晴らしや自立の一助になることでしょう。

登山に例えると、今は幕営地でテントの中でひたすら風雨に耐える「停滞」の時期なのかもしれません。しかし、いずれ嵐は去り、晴天に恵まれる時がきます。そのときのために山頂を踏む為の体力を温存し思索を巡らし

戦略を練る時でありましょう。

「人、菜根咬みえば、すなわち百事をなすべし」という言葉を昨年の始業式で紹介しましたが「人は逆境においてその真価が試される」ということでした。いつの時代も生き辛い時、何を縁（よすが）に生きていいか分からない人にとっては珠玉の言葉になるのかもしれませんが。いつまでも驟雨（しゅうう）は続くことはありません。今こそ、今まで私たちが大切にしてきた「平城心」で共に頑張ってゆきましょう！



南極 リーセルラルセン山

また平城高校に君たちの元気で明るい笑顔が戻ってくる日を楽しみにしています。

令和2年4月20日

校長 森田好博